新規	□更新	斩

303 アッシャー症候群

■ 基本情報

氏名										
姓(漢字)	名(漢字)									
姓(かな)		名(かな)								
住所										
郵便番号										
JAKE V		1-	L//							
生年月日等										
生年月日			西暦	年	月	日	性別	1. 男 2. 女		
出生市区町村										
出生時氏名(変更のあ	る場合	.)	姓(漢字) 名(漢字)							
			姓(かな) 名(かな)							
家族歷										
近親者の発症者の有無		1. あり	2.なし 3	2. なし 3. 不明						
発症者続柄 1				所 1. 父 2. 母 3. 子 4. 同胞 (男性) 5. 同胞 (女性) 6. 祖父 (父方)						
	7. 祖母(父方) 8. 祖父(母方) 9. 祖母(母方) 10. いとこ 11. その他(
両親の近親結婚	両親の近親結婚1. あり 2. なし 3. 不明 詳細:									
発病時の状況										
発症年月	発症年月 西暦 年 月									
社会保障	社会保障									
介護認定 1. 要介護 2. 要支援 3			支援 3.なし				要介護度	1 2 3 4 5		
生活状况										
移動の程度	1. 歩き回るのに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 寝たきりである									
身の回りの管理	1. 洗面や着替えに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 自分でできない									
ふだんの活動	1. 問題はない 2. いくらか問題がある 3. 行うことができない									
痛み/不快感1. ない 2. 中程度ある 3. ひどい										
不安/ふさぎ込み 1. 問題はない 2. 中程度 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる										

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 症状

//-	
① 夜盲、視野狭窄、視力低下などの視覚障害 (網膜色素変性症)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
発症年月: 西暦 年 月	
② 両側性感音難聴、めまいなどの耳症状 (蝸牛・前庭症状)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
発症年月: 西暦 年 月	

B. 検査所見

① 網膜色素変性症に関する所見(以下のうち、網膜電位の異常を含めて2つ以上を満たす)					
1. 眼底所見:網膜血管狭小、粗造胡麻塩状網膜、骨小体様色素沈着、多発する白点など	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				
2. 網膜電位の異常 (振幅低下、又は消失)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				
3. 蛍光眼底造影所見で網膜色素上皮萎縮による過蛍光または低蛍光	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				
4. 光干渉断層像で中心窩における IS/0S の異常 (不連続または消失)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				
② 感音難聴に関する所見 (以下の全てを満たす)					
1. 純音聴力閾値検査(気導・骨導)の閾値上昇	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				
2. 中枢性疾患、Auditory Neuropathy、伝音難聴が否定できる	1. 該当 2. 非該当 3. 不明				

C. 疾患のタイプ分類(該当する項目に☑を記入する)									
□タイプ1:5	□タイプ1: 先天性の高度~重度難聴を呈する。両側前庭機能障害を伴う例が多く、視覚症状は10歳前後より生じる。								
□タイプ2:5	先天性の高音障害型の	難聴を呈する。	視覚症状に	北思春期以降	針に生じる。 「	前庭機能は正常	常である個	列が多い。	
□タイプ3:剪	難聴、視覚症状とも思	春期以降に生	じ、難聴は後	よ々に進行					
D. 遺伝学的検査									
遺伝子検査の	遺伝子検査の実施 1. 実施 2. 未実施								
実施した場合	、変異がある項目につ	いて☑を記入	する						
□MYO7A □	□ USH1C □ CDH23	□PCDH15	□USH1G	$\square CIB2$	□USH2A	□GPR98	□DFNB3	1 □CLRN1	
実施した遺伝子検査の詳細を記入()									
備考(
※その他の遺	伝子検査を実施した場	合や詳細な所	見の記載が必	必要な場合に	こは備考欄に	記入する			
<診断のカテ	ゴリー> (該当する項	目に口を記入	<u>.する)</u>						
□ (A-①と	B-① 及び (A-②)とB-2) の	双方を満たっ	す					
□ (A-①と	B-①) または (A-	②とB-②)	のいずれかを	を満たし、I	D. 遺伝学的标	倹査により特異	的な遺伝	5子変異を認める	
	分類に関する事項								
	1000、2000Hzの								
	5 dBHL 未満) □					□2 中等度難	徳(40	dBHL以上70dBHL未満)	
□3 高度難聴	□3 高度難聴 (7 0 d BHL 以上 9 0 d BHL 未満) □4 重度難聴 (9 0 d BHL 以上)								
2)視覚(矯正視力、視野ともに良好な方の眼を用いる)									
			*	(矮正組力() 7 以 上 相	野体空なり)	ПШ		
□ I 度(矯正視力 0.7 以上、かつ視野狭窄なし) □ □ II 度(矯正視力 0.7 以上、視野狭窄あり) □ □ II 度(矯正視力 0.7 未満、0.2 以上) □ IV度(矯正視力 0.2 未満)									
■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)									
使用の有無	1.50	(10,11,10)	7447						
開始時期	西暦年	 月			離脱の見			1.あり 2.なし	
種類	1.気管切開口を介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器 2.なり 2.なし								
施行状況									
生活状況	食事		分介助 □全			<u>·</u> ッド間の移動	口自立.	□軽度介助 □部分介助 □全介助	
	整容		分介助/不可		トイレ動作	2 1 114 2 12 254		□部分介助 □全介助	
	入浴		/////////////////////////////////////		歩行			□軽度介助 □部分介助 □全介助	
	階段昇降		分介助 □不		^{ク 17} 着替え			□部分介助 □全介助	
	排便コントロール	□自立 □部			排尿コントロ	コール		□部分介助 □全介助	
				~					
医療機関名									
指定医番号									
医療機関所在地									

記載年月日:平成 ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。 (ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)

印

- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6ヵ月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成27年5月13日健発0513第1号健康局長通知)を参照の上、 ご記入ください。

電話番号

()

年 月 日

※自筆または押印のこと

・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。

医師の氏名